

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通再構築調査事業)

中国運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通再構築調査事業

令和8年2月24日

| 協議会名 | ②事業概要 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 |
|----------------------|--|-------------------|--------------------|---|---|
| | | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・ 効果 達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 |
| 芸備線再構築協議会 | <p>【事業内容】 (実証事業) 芸備線の増便やダイヤ変更、二次交通の連携・強化、観光コンテンツの造成等の「施策」を試行的に実施し、費用・地域経済効果の試算を図る。</p> <p>(調査事業) 新たなデータ収集やその他の調査・分析、調査事業A(追加的調査を含む)/実証事業Aの結果を踏まえた、地域経済効果の試算(調査事業A)の妥当性検証などより専門的な分析を行う。</p> | A | A | <p>引き続き実証Aにおいて、費用、価値の取りまとめを行うとともに、今後は、鉄道以外の交通モードの経済効果を検証するため、沿線地域における日常利用・観光利用向けのバスの実証運行やツアー造成など、バスに関する実証事業を実施した上で、鉄道とバスの経済効果比較を中心に最適な交通モードについて議論し、芸備線の再構築方針案について検討することとしている。</p> | <p>調査・実証事業を通じて、対象地域における公共交通の現状や課題、今後の方向性について、ファクトとデータに基づく検討が着実に進められた。 二次交通との連携、観光等の多面的な観点から施策を検討・実証し、鉄道における経済効果や可能性について一定の知見が得られたことは、今後の検討を進める上で有意義な成果であると評価できる。 本事業で得られた調査結果や実証事業の成果を踏まえ、引き続き関係者が連携・協働しながら、地域の实情に即した持続可能な公共交通の実現に向けた検討が深化していくことが期待される。</p> |
| 三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会 | <p>①協議会等の開催・運営 内容: JR芸備線に係る基本認識の共有、3市連携したまちづくり及び移動創出に係る課題整理 ほか 結果: 第1回協議会(R6.5.31)、第2回協議会(R6.11.28)、第3回協議会(R7.4.25)、第4回協議会(R7.8.18)の計4回開催。今年度は今後1回程度開催予定。</p> <p>②調査委託の実施 業務名: 芸備線クロスセクター効果分析その他業務 委託期間: 令和7年8月22日から令和8年3月19日まで 業務内容: クロスセクター効果分析(多面的な効果の検討)、クロスセクター効果分析に係るアンケート調査</p> | A | A | <p>次年度以降も引き続き、まちづくりと連携した鉄道のあり方や二次交通、利用促進策、公的支援方法等について協議会等で議論を進め、方向性が決定次第、法定協議会へ移行し、沿線の地域公共交通計画策定等を進める予定</p> | <p>クロスセクター調査の内容を更に深掘りし、芸備線沿線の現状から未来を見据えて、どうアウトプットしていくかが重要な課題であることから、今後の議論に期待したい。また、同時に実施したアンケート調査においても回答率が非常に高かったことから、より精緻な分析と結果を今後の協議会等に示していき、3市連携してのまちづくりの議論に資することを期待したい。</p> |